

TAKAQ

2027年2月期
第一四半期決算説明資料
2026年7月8日

COMPANY PROFILE

会社概要

商号	株式会社タカキュー	資本金	1億円
本社所在地	〒173-0004 東京都板橋区板橋3丁目9番7号	期末従業員数	273名（就業人員）
TEL	03-5248-4100（代）	市場名	東証スタンダード
事業所	名古屋物流センター（愛知県名古屋市港区）	適格請求書 発行事業者登録番号	T5011401003916
事業内容	紳士服・婦人服及び関連洋品雑貨の企画・販売	決算	2月末
設立	1950年6月30日	代表者	代表取締役社長執行役員 伊藤 健治（いとう けんじ）



PHILOSOPHY

企業理念

MISSION

私たちは、服を通してお客様を幸せにし、自信と喜びを提供することを使命とします。常に高品質でトレンドを反映した商品を提供し、お客様の人生を幸せにすることを目指します。

VISION

私たちは、服を通してお客様と深い信頼関係を築き、服を通して持続可能なファッションを推進し社会と環境に貢献する会社になります。

VALUE

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| お客様第一主義 | 私たちは、お客様の声に耳を傾けて期待を超える商品・サービスを提供します。 |
| イノベーション | 私たちは、新しいアイデアと技術を取り入れ業界をリードします。 |
| 持続可能 | 私たちは、環境に優しい素材、製造方法を取り入れ持続可能な未来を目指します。 |
| エンパワーメント | 私たちは、社員一人ひとりが力を発揮できる環境で成長をサポートします。 |
| 社会的責任 | 私たちは、公正で透明なビジネスを実践し、信頼される企業であり続けます。 |

MESSAGE

代表挨拶

MY MISSION IS TO CREATE A NEW TAKA-Q

私の考えるミッションは
“新しいタカキューを作る”こと

平素より格別のご支援とご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、2024年9月17日付で代表取締役 社長執行役員に就任
しました伊藤健治でございます。

社長就任にあたり、私の考えるミッションは“新しいタカキュー
をつくる”ことです。
当社はこれまで70年以上の歴史を歩んでまいりました。その中
で醸成された風土や既存の仕組みには、もちろん良い部分もあ
りましたが、改善すべき点、進化させるべき慣習も多々あるも
のと感じています。

“新しいタカキューをつくる”にあたり、まずは物事をゼロベー
スで捉え、再構築を実施していくことによって、従業員、株主、
取引先などステークホルダーの皆様のご期待にお応えできるよ
う努めてまいります。

そして、これらを実現するにあたり、経営理念・行動指針を再
定義し、実践してまいります。

代表取締役

社長執行役員 伊藤 健治



目次

▶会社概要・企業理念・代表挨拶	P.2
I. 2027年2月期第一四半期決算概要	P.6
(1) 損益計算書(要約)	P.7
(2) 貸借対照表(要約)	P.11
(3) キャッシュフロー計算書(要約)	P.12
(4) 2027年2月期通期業績予想	P.13

I .2027年2月期 第一四半期決算概要

1. 損益計算書(要約)

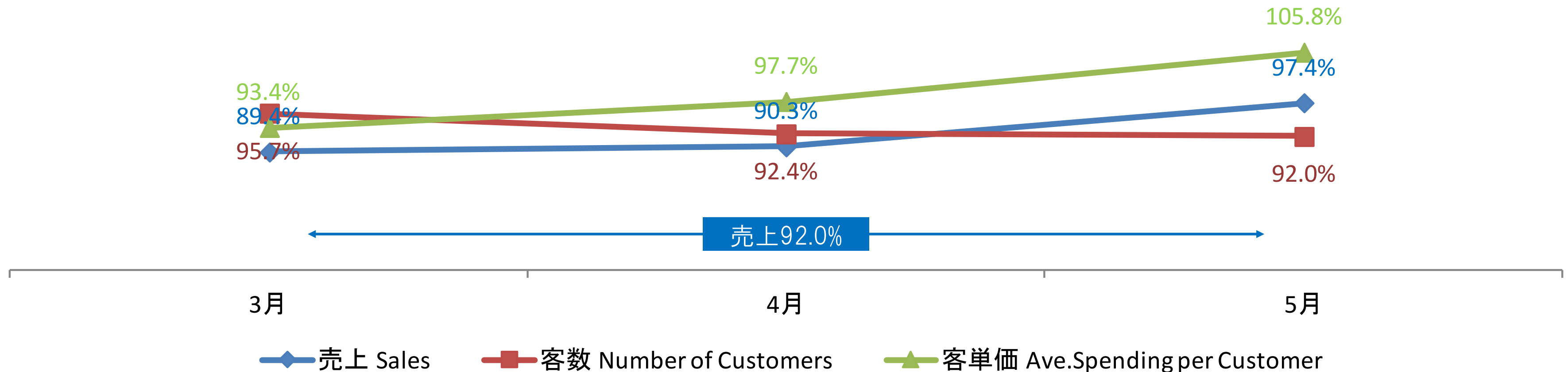
- 売上高は、スーツやカットソー等の苦戦、EC事業の規模見直し等により、前年同期比減収。
- 利益面では、コスト管理の徹底に努め販管費を削減(△3.5pt)するも、売上高の減収を補うには至らず各段階利益は減益となる。

単位:百万円	26/2期 第一四半期	27/2期 第一四半期	前年同期差額	増減率
売上高	2,410	2,195	△215	△8.9%
成長率	90.8	91.1	+0.3pt	—
EC化率	11.1	5.4	△5.7pt	
売上総利益	1,556	1,412	△143	△9.2%
売上総利益率	64.6	64.4	△0.2pt	—
販管費	1,405	1,356	△49	△3.5%
営業利益	150	56	△93	△62.3%
営業利益率	6.2	2.6	△3.6pt	—
経常利益	182	74	△107	△59.3%
当期純利益	176	45	△130	△74.1%

1-1. 既存店売上 (EC含む・前年同期比)

- ECにおける展開商品の縮小等、事業規模の見直しにより、EC既存店の前年同期比は45.1%
- リアル店舗ではニット素材のドレスシャツを中心にビジカジアイテムが堅調に推移するも、スーツ、カットソー等の主要品種が苦戦し、リアル店舗既存店の前年同期比は97.9%
- 上記により、既存店売上高は前年同期比92.0%

既存店前年比推移
(Existing Store Sales By Month)



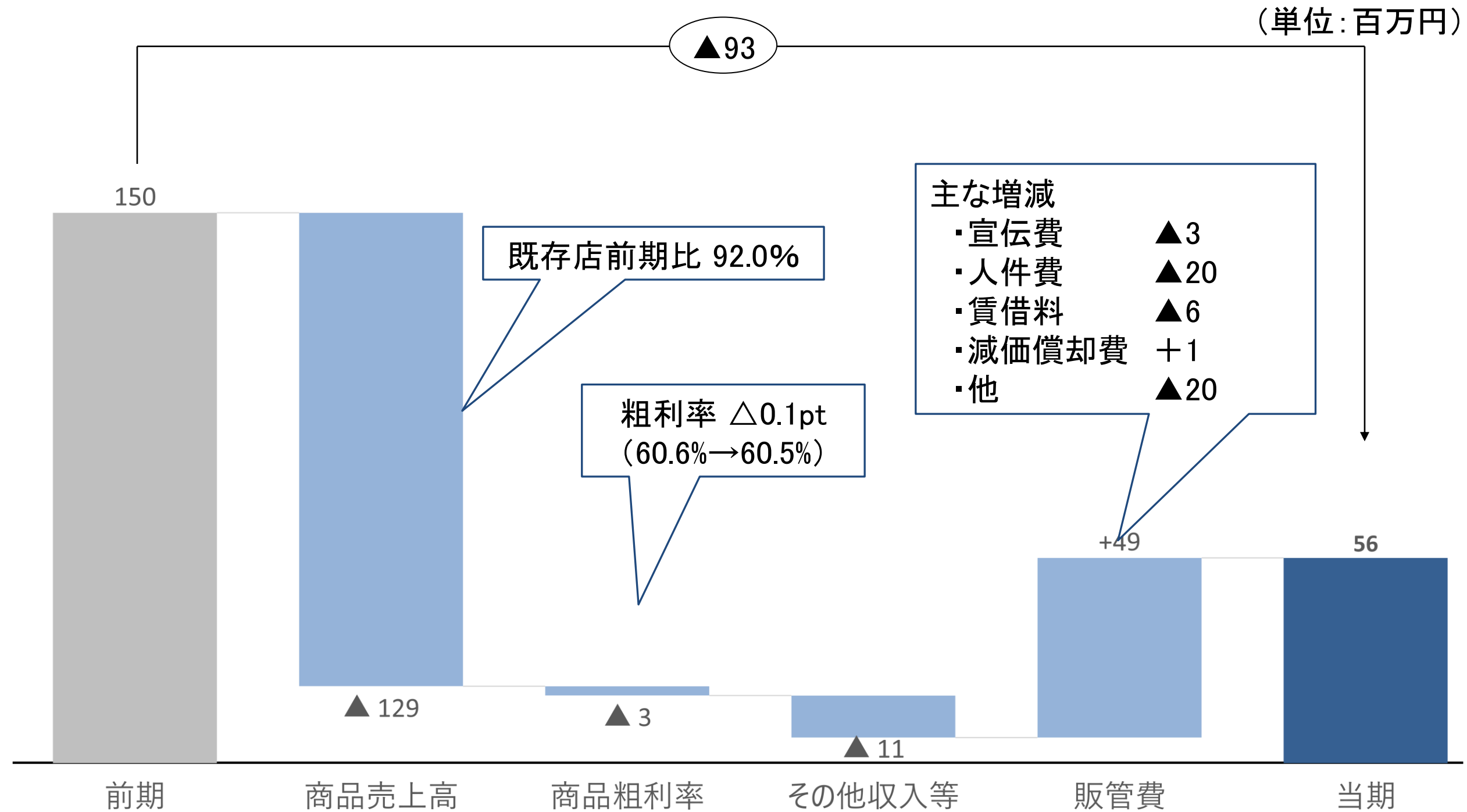
1-2. 販売費及び一般管理費(要約)

- 販管費 前年同期差△49百万円
 - － 広告宣伝費: △3百万円: EC事業における販促費の減少等
 - － 人件費 : △20百万円: 賞与見直し等
 - － 賃借料 : △6百万円: 売上高減少等による賃料減少
 - － 減価償却費: +1百万円: 新会計システム導入等
 - － その他経費: △20百万円: EC事業における業務委託費、および支払手数料の減少等

単位: 百万円	26/2期 第一四半期	27/2期 第一四半期	前年同期差額	増減率
販管費	1,405	1,356	△49	△3.5%
広告宣伝費	71	68	△3	△4.7%
人件費	497	477	△20	△4.0%
賃借料	362	356	△6	△1.7%
減価償却費	26	28	+1	+6.6%
その他経費	447	427	△20	△4.5%

1-3. 営業損益増減(前年同期比)

- 営業損益は、56百万円の黒字を確保するも、前年同期比▲93百万円の減益



2. 貸借対照表(要約)

- 流動資産の増加: +304百万円
 - 現金及び預金(+315百万円)、商品(+84百万円)
- 固定資産の減少: Δ 553百万円
 - 投資有価証券(Δ 788百万円)
- 負債の減少: Δ 1,067百万円
 - 電子記録債務(Δ 706百万円)、長期借入金(Δ 373百万円)

単位:百万円	26/2期 第一四半期	27/2期 第一四半期	増減
総資産	6,208	5,958	Δ 249
流動資産	3,915	4,220	+304
固定資産	2,292	1,738	Δ 553
負債	4,889	3,821	Δ 1,067
有利子負債	1,991	1,618	Δ 373
純資産	1,319	2,137	+818

3. キャッシュフロー計算書(要約)

- 営業キャッシュフローは、仕入債務の減少△358百万円、未払金の減少86百万円等
- 投資キャッシュフローは、新店等に伴う固定資産の取得による支出24百万円、
ソフトウェア取得による支出86百万円あり
- 財務キャッシュフローは、新株発行による収入122百万円あり

(単位:百万円)

単位:百万円	26/2期 第一四半期	27/2期 第一四半期
営業活動によるキャッシュフロー	92	△267
投資活動によるキャッシュフロー	△13	△118
財務活動によるキャッシュフロー	△24	94
現金及び現金同等物の増減額	+54	△291
現金及び現金同等物の期首残高	1,378	2,039
現金及び現金同等物の当期末残高	1,433	1,748

4.2027年2月期通期業績予想(修正無)

【前提条件】

- 売上高: 既存店前期比100.8%、新規出店1店舗、退店1店舗
- 売上総粗利益率: 63.4%、前期差+1.6pt(値入率の改善、プロパー消化率の改善、等)
- 販管費: 前期比102%(会員向け販促強化、定昇等人件費の増加、IT投資に伴う減価償却費増、等)

単位: 百万円	26/2期 実績	24/3公表 事業再生計画	27/2期予想		
			予想	前期増減	増減率
売上高	8,666	9,908	8,700	+34	+0.4%
売上総利益	5,359	5,579	—	—	—
販管費	5,340	5,523	—	—	—
営業利益	19	56	60	+41	+215.8%
経常利益	134	198	200	+66	+49.3%
当期純利益	1,122	127	130	△992	△88.4%

本資料に掲載されております事項は、決算発表時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。

これらの将来展望に関する表明には、様々なリスクや不確実性が内在しており、前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
世界経済・競合状況・為替の変動等に係るリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。
本資料と併せて、決算短信などの開示書類をご参考にしていただきますようお願い申し上げます。

T Λ K Λ Σ Q